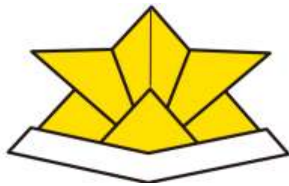


5月になりました。この季節の晴れた日は本当に気持ちが良いですね。

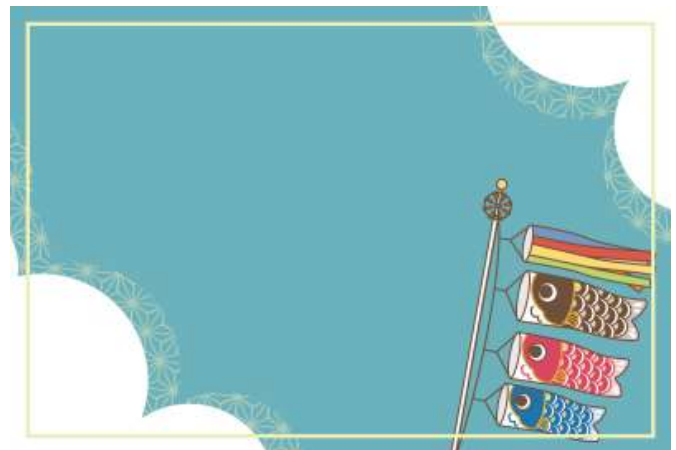
さて、そんな5月の爽やかな晴れの日を「五月晴れ」（さつきばれ）といいますが、その元々の意味をご存知ですか？五月（皐月）とは旧暦で6月にあたります。6月といえばジメジメとした梅雨の季節ですね。そんな梅雨の合間に晴れた日の事を「五月晴れ」と呼んでいたそうです。現在では意味が変わり、気象庁でも「五月晴れ＝5月の晴天の意」となりました。また、「五月晴れ」の反対語で「五月雨」（さみだれ）という言葉があります。こちらは何故か意味が変わらず、6月の長雨・梅雨を指しています。面白いですね！

楽しい行楽シーズン、歯の調子が悪いと、楽しい気分も台なしです。お出かけの前にはぜひ定期検診を。また、5月の第2日曜（10日）は「母の日」です。家族のことを優先して、自分のことは後回しの多忙なお母さんへ、日頃の感謝の気持ちをこめて、定期歯科検診をすすめてみてはいかがでしょうか？

伊藤歯科クリニックからのお知らせ



歯科検診を受けよう！



伊藤歯科クリニック

電話 06-6396-5566

診療科目 一般歯科、小児歯科、歯列矯正、審美歯科
インプラント、予防検診 往診 歯周病 顎関節症

交通手段 地下鉄御堂筋線東三国駅2番出口0分

結構あめが多い最近ですが、季節の変わり目で体調など崩さないように手洗いとうがいを心がけましょう（笑）

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前	9:30 ~13:00	9:30 ~13:00	休診	9:30 ~13:00	9:30 ~13:00	9:00 ~12:30
午後	15:30 ~20:00	15:30 ~20:00	休診	15:30 ~20:00	15:30 ~20:00	14:00 ~17:00
休診日 日曜・休日・水曜						

むし歯は感染する！

★虫歯菌感染の窓とは！？

生まれたばかりの赤ちゃんのお口の中には、むし歯菌がいません。むし歯菌は固い所にしか住めないので、歯のない赤ちゃんのお口には住めないのです。そんな赤ちゃんに、むし歯菌が感染し始めるのは、歯が生えてくる6ヶ月ころからといわれています。特に、生後19ヵ月（1歳7ヶ月）から31ヵ月（2歳7ヶ月）までの時期に最も感染し、定着します。この時期は「感染の窓」と呼ばれ、注意が必要とされています。



また、むし歯の体質はおよそ2歳までに決まり、その後一生変わらないといわれています。むし歯菌の感染が早いほど、その後に虫歯ができやすい傾向があり、2歳以前に感染した子の方は、2歳以降に感染した子より虫歯が多い傾向があります。

感染の窓の時期に家庭や歯科医院でしっかり感染予防ができれば、その後は虫歯になりにくくなるのです。

★虫歯菌どうやって感染するの？

スキンシップによる感染

可愛らしいあかちゃんに思わずチューすると、むし歯菌が口から口へ感染してしまうことがあります。

食べ物の食べ移しから感染

熱い食べ物の温度を口で確かめたり、大きな食べ物を噛み砕いてからあげると、むし歯菌の感染の原因になります。

食器の共有から感染

大人が使ったスプーンやフォークで食べさせるときに、むし歯菌が移ってしまう可能性があります。



★感染させないための3つの工夫とは？

- 1) お母さんとお父さんだけでなく、同居する家族の方全員が、歯科医院でしっかりとクリーニングを受けお口の中の細菌を減らす。むし歯や歯周病を治療し口腔内を除菌しておく。
- 2) むし歯菌は、唾液を通して感染するので、食べ物を噛み砕いてあげたり、フーフーしたりしないように気を付ける、また大人と同じ食器やスプーンで食べ物を与えないようにする。
- 3) 歯科医院で定期的にクリーニングを受け、フッ素を塗布する。シーラントをしてもらい、むし歯になりやすい歯の裂溝を封鎖する。

あまり神経質になりすぎる必要はありませんが、赤ちゃんのお母さんだけでなく、お父さんやおじいちゃん、おばあちゃんなど、家族みんなで協力して虫歯予防ができるといいですね。



伊藤歯科クリニック

